

2009年11月10日
株式会社みずほ銀行
株式会社みずほコーポレート銀行

インド国グジャラート州工業開発局との業務協力覚書調印について

株式会社みずほ銀行（頭取：西堀 利）と株式会社みずほコーポレート銀行（頭取：佐藤康博）（以下、両行）は、11月9日インド国グジャラート州工業開発局（以下、i N D E X T b）との間で日系企業進出支援に関する業務協力覚書に調印いたしました。i N D E X T bとの業務協力覚書締結は、邦銀では初めてとなります。

1. 業務協力覚書の骨子

- (1) 日系企業進出、誘致に関する相互協力
- (2) 中小企業を含む日系企業相談会等の共催
- (3) 日系企業に対するインド側パートナーの選定、諸手続のサポート

2. 覚書締結の狙い

- (1) i N D E X T bは、インドのグジャラート州政府の主要機関で、産業発展の促進及び投資促進を担っています。また、外国企業の投資申請にかかる受付・相談、許認可申請受付・アドバイス等の役割を担っており、同州への投資を検討する場合の窓口となる州政府機関です。
- (2) 昨今、日系企業のインド進出が拡大する中で、両行は担当州政府機関であるi N D E X T bとの情報交換を通じて、インド(特にグジャラート州)に進出を検討する日系企業へ有益な投資情報の提供・サポート体制の充実を図るものです。
- (3) 両行の顧客基盤やグローバルネットワーク、並びにi N D E X T bの専門的なアドバイス、サポート体制等お互いの強みを活かした相互協力を通じ、日系企業の投資促進を図ってまいります。

以 上

(参考) グジャラート州の概要

グジャラート州（主要都市：アーメダバード）は、カーンドラー港、ムンドラ港、ダヘッジ港等大型港湾を有し、化学・石油化学をはじめ自動車、金属加工、機械、セメント、バイオ等各種産業が発達したインドの北西部の州。GDP成長率はインドの同成長率を上回っており、国内で最も経済成長している地域と位置づけられている。中近東・欧州・アフリカへの輸出に最適な立地条件および優良な電力・インフラ環境を活かし、外資誘致も積極的に行なっており、デリー・ムンバイ産業大動脈構想(DMIC)による交通インフラ整備により今後も大型開発・インフラ整備が見込まれている。